

こたえ 三びきの子ぶた

ひょうじゅん 標準 ⑤

三びきの子ぶた

(イギリスの昔話)

三びきの子ぶたが、大きくなってお母さんの家を出ることになり、それぞれ自分の家を建て(た)ることにしました。

一番上の兄さんは、わらで家を作りました。二番目の兄さんは、木の枝(えだ)で家を作りました。一番下の弟は、時間をかけて、れんがで家を作りました。

そこへ、おおかみがやってきました。おおかみが息をふきかけると、わらの家も、木の枝(えだ)の家も、あつという間にふき飛ば(と)されてしまいました。

二ひきは、弟のれんがの家ににげこみました。おおかみは、いくらふいても、れんがの家をこわすことはできませんでした。

三びきは、それからいっしょに、れんがの家でなかよくくらししました。

1 一番上の兄さんは、何で家を作りましたか。

ア わら

イ 木の枝(えだ)

ウ れんが

2 一番下の弟は、何で家を作りましたか。

れ ん が

3 れんがの家が、ふき飛ば(と)されなかったのは、どうしてでしょう。

時間をかけて、じょうぶなれんがで作ったから。

4 家がふき飛ば(と)された順に、□に1・2を書きましょう。

2 木の枝(えだ)の家

1 わらの家

おうちの方へ

- 手間をかけてじっくり取り組むことの大切さを伝える話です。